



## 平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月13日

上場会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2884 URL http://y-food-h.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 吉村 元久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 安東 俊 (TEL)03(6206)1271  
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年2月期第3四半期の連結業績(平成28年3月1日~平成28年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年 2月期第3四半期	11,604	21.7	402	43.5	423	50.5	263	43.4
28年 2月期第3四半期	9,532	—	280	—	281	—	183	—

(注) 包括利益 29年 2月期第3四半期 264百万円(43.2%) 28年 2月期第3四半期 184百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年 2月期第3四半期	60.62	60.36
28年 2月期第3四半期	46.81	—

(注) 平成28年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株  
 式は非上場であったため期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年 2月期第3四半期	9,044	3,554	39.3
28年 2月期	6,178	3,045	49.3

(参考) 自己資本 29年 2月期第3四半期 3,553百万円 28年 2月期 3,045百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年 2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年 2月期	—	0.00	—		
29年 2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日~平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属す る当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,585	29.2	408	24.6	410	25.0	239	△48.1	55.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) ー、除外 一社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期3Q	4,348,799株	28年2月期	4,048,799株
② 期末自己株式数	29年2月期3Q	383株	28年2月期	336株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期3Q	4,346,247株	28年2月期3Q	3,924,999株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策等により、企業業績の回復や雇用環境の改善など、緩やかながらも回復基調を続けております。一方、英国のEU離脱や新興国における景気減速等により、世界経済の先行き不透明感が高まっており、これらによる景気の下振れリスクが懸念されております。

食品業界におきましては、全般的に安定しているものの、個別の企業間競争は、引続き過度な状況のまま推移しており、これらは収益を押し下げる要因となっております。また、為替レートの変動リスクも高まっており、一部業績に影響を与える状況もみられております。

このような状況の下で当社グループは、傘下企業において積極的な設備投資と新たな関連分野への参入を推進するとともに、M&Aによる拡大を積極的に図ってまいりました。また、グループのリソースと当社の各支援機能および経営管理機能(中小企業支援プラットフォーム)を融合し、収益の最大化を図ることでさらなる成長を試みるとともに、経営効率の高い組織づくりに注力し企業価値の向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は11,604,628千円(前年同期比21.7%増)、営業利益402,448千円(前年同期比43.5%増)、経常利益423,439千円(前年同期比50.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益263,456千円(前年同期比43.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 製造事業

製造事業につきましては、積極的な設備投資および中小企業支援プラットフォームを活用した販路の拡大等の取り組みをおこなってまいりました。また、平成28年7月にゼリーの製造販売をおこなう純和食品㈱、9月に清酒の製造販売をおこなう榮川酒造㈱およびチルド・冷凍の畜肉加工品を製造販売する㈱エスケーフーズを新たに傘下に収めることで規模の拡大を図るとともに、大口取引の獲得をおこなうべく、商品開発に注力し、提案力の強化に努めてまいりました。

その結果、M&Aによる規模の拡大や主要子会社である樂陽食品㈱におけるプラットフォーム施策の取り組みが奏功したこと等により、売上高は8,364,853千円(前年同期比28.5%増)となりました。

利益につきましては、売上の増加や設備投資等生産性向上による原価率の低減等図った結果、510,045千円(前年同期比30.8%増)となりました。

#### ② 販売事業

販売事業につきましては、グループの情報網を活用し、既存取引先への販売強化および企画提案力の向上に努め、新規開拓の取り組みに注力してまいりました。

その結果、㈱ヨシムラ・フードにおいて、冷凍原料の販売が好調であったことおよび㈱ジョイ・ダイニング・プロダクツにおいて、生協をはじめとする主要得意先への販売が好調に推移したことにより、売上高につきましては、3,239,775千円(前年同期比7.2%増)、利益につきましては158,600千円(前年同期比36.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,044,865千円となり、前連結会計年度末に比べて2,865,935千円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加858,357千円、たな卸資産の増加647,813千円、現金及び預金の増加541,376千円、有形固定資産の増加407,683千円およびのれんの増加219,750千円があったことによるものです。

負債は5,490,075千円となり、前連結会計年度末に比べて2,356,761千円増加しました。これは主に、借入金の増加1,518,730千円および支払手形及び買掛金の増加548,286千円があったことによるものです。

また、純資産は3,554,790千円となり、前連結会計年度末に比べて509,173千円増加しました。これは主に、資本金の増加121,440千円、資本剰余金の増加121,440千円および利益剰余金の増加263,456千円があったことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期の連結業績予想につきましては、平成28年9月1日に公表いたしました「平成29年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」の内容から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当連結会計年度から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更をおこなっております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えをおこなっております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱いに関する実務上の取り扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,110,440	1,651,816
受取手形及び売掛金	1,848,266	2,706,623
商品及び製品	1,021,662	1,408,891
原材料及び貯蔵品	429,925	690,509
その他	66,649	177,360
貸倒引当金	△8,685	△11,380
流動資産合計	4,468,258	6,623,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	334,969	518,951
機械装置及び運搬具(純額)	343,493	449,661
その他(純額)	628,707	746,242
有形固定資産合計	1,307,170	1,714,854
無形固定資産		
のれん	208,903	428,653
その他	45,482	44,022
無形固定資産合計	254,385	472,675
投資その他の資産		
その他	267,963	351,945
貸倒引当金	△118,848	△118,432
投資その他の資産合計	149,115	233,513
固定資産合計	1,710,671	2,421,043
資産合計	6,178,930	9,044,865

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	979,074	1,527,361
短期借入金	50,000	125,000
1年内償還予定の社債	80,000	30,200
1年内返済予定の長期借入金	423,111	687,148
未払法人税等	189,610	105,493
未払消費税等	57,112	85,099
賞与引当金	45,894	93,337
その他	570,636	860,386
流動負債合計	2,395,438	3,514,025
固定負債		
社債	20,000	14,500
長期借入金	604,552	1,784,245
退職給付に係る負債	37,933	114,868
その他	75,388	62,436
固定負債合計	737,875	1,976,049
負債合計	3,133,313	5,490,075
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	926,847	1,048,287
資本剰余金	1,115,620	1,237,060
利益剰余金	1,001,975	1,265,431
自己株式	△311	△360
株主資本合計	3,044,131	3,550,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,485	2,810
その他の包括利益累計額合計	1,485	2,810
新株予約権	—	1,560
純資産合計	3,045,616	3,554,790
負債純資産合計	6,178,930	9,044,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	9,532,929	11,604,628
売上原価	7,508,959	9,015,169
売上総利益	2,023,969	2,589,459
販売費及び一般管理費	1,743,446	2,187,011
営業利益	280,522	402,448
営業外収益		
受取賃貸料	4,794	7,890
為替差益	—	7,093
その他	13,161	19,258
営業外収益合計	17,956	34,242
営業外費用		
支払利息	12,361	10,373
支払手数料	3,000	2,000
その他	1,776	877
営業外費用合計	17,137	13,251
経常利益	281,341	423,439
特別利益		
固定資産売却益	469	752
特別利益合計	469	752
特別損失		
固定資産売却損	—	1,173
固定資産除却損	3,478	—
特別損失合計	3,478	1,173
税金等調整前四半期純利益	278,332	423,018
法人税、住民税及び事業税	101,790	128,771
法人税等調整額	△7,192	30,790
法人税等合計	94,598	159,562
四半期純利益	183,733	263,456
親会社株主に帰属する四半期純利益	183,733	263,456



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	183,733	263,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,151	1,325
その他の包括利益合計	1,151	1,325
四半期包括利益	184,885	264,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,885	264,781
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,511,234	3,021,694	9,532,929	—	9,532,929
セグメント間の内部売上高又は振替高	75,781	881,437	957,218	△957,218	—
計	6,587,016	3,903,131	10,490,147	△957,218	9,532,929
セグメント利益	390,046	116,076	506,123	△225,600	280,522

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,364,853	3,239,775	11,604,628	—	11,604,628
セグメント間の内部売上高又は振替高	83,705	935,250	1,018,956	△1,018,956	—
計	8,448,559	4,175,025	12,623,584	△1,018,956	11,604,628
セグメント利益	510,045	158,600	668,645	△266,197	402,448

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれん金額の重要な変動)

「製造事業」セグメントにおいて、純和食品株式会社他1社の株式の取得に伴い、第2四半期連結会計期間より同社を連結範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は281,205千円であります。